

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2070101684		
法人名	医療法人みずゞ会		
事業所名	グループホーム星のさと		
所在地	長野県長野市篠ノ井小松原2361		
自己評価作成日	令和 7年 2月 4日	評価結果市町村受理日	令和 7年 3月 14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&UjigovocCd=2070101684-00&ServiceCd=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング株式会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 7年 2月 13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームから見える景色は川中島平と遠くに志賀高原や菅平の山並みを臨める少し高台にあり、りんご畑に囲まれた自然豊かな環境に恵まれ、広い敷地内には様々な樹木や草花が植えられており四季の移り変わりを身近で感じることが出来ます。ホームの中心には坪庭があり、広く高い天窓からは一日の天気の流れが分かり、「今日はいい天気だね」「雨がふってるの?」「もうすぐ雪が降りそうだね。積もるかな?」と話が弾みます。毎日、食前には嚥下予防の口腔体操、おやつのは後に座って出来る筋力低下予防の運動を皆さんと一緒にしています。又、看護師が3名勤務しているため医療面でのサポートも充実しています。晴れた日には敷地内をお散歩したり、渡り廊下でお茶会をしておしゃべりに花が咲いたり…ほんの少し目先が変わるだけで気持ちがいい感じがしたり、1月14日の十五夜には東の空より昇るお月様を見て静かに手を合わせる利用者が魅力的で感動したり、朝、ラジオから流れるラジオ体操に合わせて体操する事を日課としている利用者さん…。職員・利用者さんの移動が少なく、慣れ親しんだ環境で生活ができ、看取りの支援もしており、安心して穏やかに過ごせる環境をご家族様と一緒に考え、寄り添いながらサポートしています。それぞれの個性や思いを尊重し、法人の理念である『一人一人に一人一人の介護を。』を大切に、もう少し私達に何か出来る事はないか模索しながら、利用者さんの笑顔がより多くみられるようなより良い関係を築いていきたいと願っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームのある長野市篠ノ井小松原地区は昔は「共和村」という集落でりんごの産地として名を馳せ、南東向きの斜面にりんご畑が広がり、陽当たりがよく、朝から太陽の恵みをたっぷり受けることができる。そうした環境の中、法人の関連施設と共に当ホームがある。開設から22年目を迎え「一人一人に一人一人の介護を」という理念の下、利用者一人ひとりが自らの力量を遺憾なく発揮しており、食事作り、洗濯物たため、野菜作り等、自らの役割として職員と共に楽しみながら、「利用者同士が共同生活を行うことで社会的交流が生まれ、認知症の進行をできるだけ抑制する」という認知症グループホームの本来の目的を遂行している。各種感染症拡大が危惧される中、法人の感染対策委員会の決定に従って感染対策を万全に行い、各居室の窓から家族等と面会をするなど、状況に合わせた対応を行っている。当ホームでは適切な医療が受けられる体制を整備しており、法人の代表者が脳神経科の専門医であるため定期的MRIを撮り認知症の進行に合わせた対応に繋げ、協力医でもある隣接する医院へ受診に出掛けることもある。また、ホームには常勤の看護師1名と非常勤の看護師2名が在籍しており、何かあれば隣接する老人保健施設の看護師とも連携し、日々の健康管理とともに医師との連携も図っている。歯科については歯科衛生士の来訪が定期的であり、必要に応じ協力歯科による往診も可能で口の健康に取り組んでいる。更に、隣接する老人保健施設の理学療法士や作業療法士にも機能維持面などで相談し指導を受けている。2003年の当ホームの開設された当時、多くのグループホームでは「認知症でありながらも食事、排泄、入浴などの身の回りのことが自分でできる」という要件が利用者に求められていたが、多様化する現在、そうした話は過去のものとなりつつあり利用者が重度化するともに支援の仕方も多様化している。医師や看護職員の配置が必須となっていない認知症対応型共同生活介護については、入居者が可能な限りホームでの生活を継続できるよう、医療ニーズのある者に適切な対応ができる体制を整えていく必要性に迫られている。地域の医療機関との良好な関係構築は、利用者の健康管理においてきわめて重要となっている。当ホームでは医療機関との定期的な情報交換により利用者についての相互理解を深め、緊急時の対応手順も明確化し、医療機関との連絡体制も整備して全職員が適切に対応できる体制を構築している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる(参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができて(参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある(参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに ○ 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている(参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている ○ 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている(参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている(参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが ○ 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている(参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている(参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		